

令和8年1月23日 政策企画部未来羅針盤課羅針盤プロジェクト室

未来羅針盤図に掲げる各プロジェクトにおける、これまでの主な到達点と今後の展望（方向性）についてお知らせします。

【全市展開】地域医療奥州市モデルプロジェクト

① へき地診療の提供 ～遠隔診療車でオンライン診療開始

(担当：健康増進課)

通院が困難な患者の受診機会の確保と医師の移動時間の削減による医療資源の効率的な活用に向けて、令和6年1月から衣川地域で遠隔診療専用車両の運行を開始しています。

車両に同乗した看護師が遠隔診療専用医療機器により診療補助を行い、オンラインで医師の診察を受けられることで、安心安全な医療の提供を実現しています。

今後は、他地域への運行拡大、健診事業への活用などを目指します。

◆延べ患者数 19人
◆運行回数 52回
(令和7年12月末現在)



遠隔診療車内での診察



ホテルでの日帰り産後ケア

② 周産期サポートの拡充

妊産婦の要望を聞き取り、実現する形で、通院交通費支援の拡充、産後ケア利用料の完全無償化、宿泊施設での日帰りケア開始など、妊産婦に寄り添った事業を展開しています。

今後は、さらなる産後ケアの受入れ枠の拡大や遠隔診療車両を活用した妊産婦健診の実施などに取り組みます。

◆産後ケア利用後アンケート
「また利用したいと思いますか？」
➡ はい 100% (令和7年12月末現在)

③ 新医療センター整備の推進

(担当：新医療センター建設準備室)

●令和7年6月に基本計画を策定、基本設計業者選定のプロポーザルを実施中

現在、公募型プロポーザルを進めています。応募6社を一次審査で3社に絞り込み、1月24日（土）に2次審査（技術提案のプレゼン）を行います。契約は令和8年2月の予定です。なお、プレゼンは市民も傍聴できるよう公開で行います。

●当面は基本設計を進め、市民理解を深める、その後いよいよ実行段階へ

基本設計は12か月の予定です。整備内容を詳細に検討し工事費等も明らかにします。また、市立医療施設全体の医師確保や収支改善に並行して取り組み、これらの状況を広報や説明会で周知し、市民理解を深めます。その後、実行段階に進む際にはあらためて議会の判断を求め、承認を得られた場合には、補助や起債など有利な財源を活用して、実施設計と工事を順次行います。

●疑問や不安な点の検証

市民説明会等では疑問や不安の声もありましたが、2040年問題の対応や水沢病院の老朽化対策等は喫緊の課題ですので、基本設計の段階で疑問点等について検証します。

今後の主なスケジュール（予定）

R8.2～ R9.1	・基本設計業務（12か月） ・進捗等を随時市民説明
R9.2	・議会へ実施設計等の予算案提出
R9.4～	・施工予定業者の選定（プロポ）
R9.8～ R10.5	・設計業者による 実施設計 業務 ・施工予定業者による設計への技術協力業務（ECI方式）
R10.2	・議会へ 建築工事等の 予算案提出
R10年度	・ 建築工事等 の施工（25か月）
R12年度	・移転・ 開院 （秋頃）

【全市展開】未来型公共交通プロジェクト

デジタル技術の活用で利便性を向上

(担当：公共交通対策室)

昨今の公共交通を取り巻く運転士不足や多様化する利用者ニーズに対応するため、奥州市地域公共交通計画（第4次バス交通計画）に基づき、令和6年12月に交通系ICカードによる運賃決済システムを導入するなど、デジタル技術を活用した公共交通の利便性向上を進めてきました。

デジタル技術を活用した「便利で快適な公共交通」の提供を進める一方で、ドライバー不足等による「地域・時間帯の交通空白地」への対応が求められています。



国では、全国的に拡大している交通空白地の解消と地域公共交通の持続可能な体制づくりに向け、総合的な後押しをすることとしています。

こうした背景を踏まえ、市も市内交通事業者や地域の住民団体等との話し合いを通じて、ライドシェアなど新たな取組みについて検討していきます。

【主なデジタル活用等】

◆AIデマンド交通システム（前沢）

- ・AIが運行ルートを生成
- ・スマホアプリで24h予約可能に



◆デジタルサイネージ（デジタル案内板） 路線バスの運行状況を表示



◆交通系ICカードによるバス運賃のキャッシュレス決済



岩手県交通発行交通系ICカード
Iwate Green Pass
(いわてグリーンパス)

【全市展開】小さな拠点づくりプロジェクト

①【衣川】安心安全な暮らしの維持へ、各種モデル事業を実施

(担当：羅針盤プロジェクト室)

人口減少や高齢化が進む中、住み慣れた地域で暮らし続ける仕組みづくりを進めるため、地域と協議し合意の下、生活サービスの維持・確保となる先駆的な取組みを地域と役割分担し、令和4年10月からモデル事業として各種実施してきました。

【導入した取組み】

◆遠隔診療車でオンライン診療



医師は衣川診療所内から診療

◆患者の診療リピート率 100%
(令和7年12月末現在)

◆地域おこし協力隊が魅力を発信

衣川産食材で
商品開発・販売



衣川の暮らし体験講座を開催

【主なモデル事業】

◆高齢者デジタルサポーターの育成



地域でスマホ操作など
相談対応
(全市展開中)

◆民生委員活動にICT活用 アプリ活用で業務の効率化



また、モデル事業と併せて、遠隔診療車によるオンライン診療の先行実施、地域おこし協力隊2名の活動による地域資源の活用に取り組んできました。

効果があった事業・取組みについては横展開を進めるとともに、地域の特性・課題に合った地域住民主体の取組みと、地域・事業者・市の役割分担について検討していきます。

【全市展開】小さな拠点づくりプロジェクト

②【伊手】旧伊手小学校を複合施設に、まもなく工事完了

旧伊手小学校複合施設改修工事が間もなく完了し、2月上旬に引き渡しとなる予定です。引き渡し後は、伊手地区センターの移転作業等を進め、伊手地区センターの移転オープン及び2階複合施設の供用開始は、令和8年4月を予定しています。

供用開始後は、本施設が地区内・外交流の拠点となり、地区コミュニティ活動の増強と地区内における仕事・収入の確保及びそれに伴う交流人口の拡大を目指して、「賑わい」と「生業」を創出するための多様な事業が「(一社)いであい」により展開されることになっています。

校舎2階改修の様子
令和8年4月から(一社)いであいが運営
地域の賑わい・生業の拠点に

【今後のスケジュール】

(担当：地域づくり推進課)

R8年1月	旧伊手小学校複合施設改修工事完了
2~3月	地区センター引越作業・供用開始前準備等
4月	奥州市伊手地区センター移転オープン 普通財産使用貸借契約締結(2階)供用開始



水沢市街地エリアプロジェクト

①メイプル運営事業候補者が決定、施設改修計画策定へ

公募型プロポーザルにより選定した運営事業候補者において、テナントリーシング、施設改修計画の策定などを進めているところです。

令和8年度には施設改修業務の実施を予定しており、リニューアルオープンは、令和9年4月以降となる見込みです。

【今後のスケジュール】

(担当：商工労政課)

R8年5月	運営事業候補者とメイプル活用案の全協説明
6月	メイプル改修等事業費の予算案提出
7月以降	施設改修業務着手
R9年4月以降	メイプルリニューアルオープン

②水沢公園リニューアル

(担当：都市計画課)

水沢公園再整備のあり方を検討するため、水沢公園の「今後のあり方・将来の絵姿」について考えるワークショップや、令和7年9月には官民連携による事業手法等の導入可能性を確認するサウンディング調査を実施しました。今後はPark-PFI(公園施設の整備・改修を一体的に行う民間事業者を公募により選定)導入に係る公募要領等作成の検討を進めていきます。

ワークショップでは「水沢公園を
憩い・健康づくり・子育て空間の場に」



③水沢駅周辺の賑わい・ウォークアブル空間の創出

(担当：羅針盤プロジェクト室)

プロジェクトの狙いである「賑わい創出」、「ウォークアブル空間の創出」に向けて、『水沢市街地の新たな可能性を見つけるシンポジウム』及びまちづくりワークショップを令和7年に開催しました。

今後は、ワークショップで提案されたイベント開催などの実証事業等を通じて、まちなか利活用の促進と賑わい創出を進めていきます。

江刺市街地エリアプロジェクト

①『開発整備基本計画』を策定中

基本計画では、「踊るように暮らす」ふらっと寄りたくなる居場所を開発コンセプトに、エリアの整備・運営事業について、導入機能、施設整備・管理運営計画、事業手法、事業費概算、整備効果、PFI導入可能性などを取りまとめています。

今後は、パブリックコメントや外部識者を交えた審査委員会を経て、基本計画を策定・公表します。基本計画策定後は、事業方式の決定、参入民間事業者の選定を経て、市民の皆様と協議しながら導入機能を確定し、官民連携により賑わい創出機能を整備していきます。

【今後のスケジュール】

- R 8～9年度 事業方式の決定と参入民間事業者の募集・選定・契約
江刺市街地都市再生整備計画の策定
- R 10～14年度 江刺市街地都市再生整備計画事業の実施

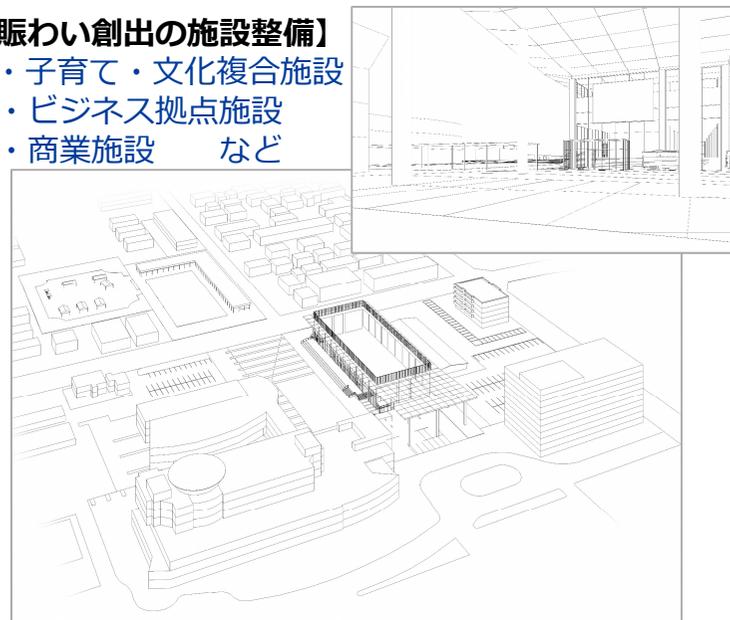
② 工業団地の渋滞緩和対策

渋滞緩和に有効な対策について調査や比較検討した結果を踏まえ、信号時間の調整とロードヒーティング延伸を行いました。また、交差点改良や道路拡幅の設計を行っており、今後も交通環境の改善に向けて取り組んでいきます。

(担当：羅針盤プロジェクト室)

【賑わい創出の施設整備】

- ・子育て・文化複合施設
- ・ビジネス拠点施設
- ・商業施設 など



開発エリア全体及び複合施設のイメージスケッチ

水沢江刺駅周辺エリアエリアプロジェクト

『活性化ビジョン』策定に向け、ニーズ調査等を実施

活性化ビジョンの策定に向けて、当該エリアの住民や民間事業者・団体との意見交換のほか、駅利用者の利用状況やニーズ等を把握するための利用者アンケート、駅駐車場等利用実態調査を令和7年に実施しました。

これらの結果を踏まえて活性化ビジョン（案）を作成し、パブリックコメントを経て、令和8年6月を目途に活性化ビジョンを策定、既存市有地を活用した官民連携による段階的なエリア開発を目指していきます。また、駅利用者の利便性向上のため、南岩手交流プラザのリニューアルと市有駐車場の環境改善を予定しています。

本エリアの開発が周辺地域の活性化に繋がるよう、引き続き地域住民と駅周辺の活用策について協議を続けていきます。

(担当：羅針盤プロジェクト室)



羽田地区振興会プロジェクトチームとの協議

奥州湖周辺エリアプロジェクト

① 奥州湖交流館改修、アウトドアツーリズム拠点に

(担当：アクティビティ推進室)

奥州湖交流館は、令和7年5月に改修工事を開始しました。トレーニング機器等の搬入を含めて令和7年度内に工事完了し、「奥州湖周辺エリアのアウトドアツーリズム拠点施設」として、令和8年6月にリニューアルオープンする予定です。リニューアル後の運営管理は指定管理者が行い、アクティビティ事業者等との連携により、民間活力による地域の活性化を図ります。また、胆沢ダムの融雪時自然越流水力発電から得られる安定的な資金を積極的に活用し、地域の持続可能な発展につなげていきます。



奥州湖交流館

② プロジェクト推進組織設立に向けて、準備会で検討

当該エリアで活動する民間事業者・団体で構成する「奥州湖周辺エリアプロジェクト推進組織設立準備会」で、推進組織の役割や次年度の事業計画の検討を進めています。令和8年3月を目途に、推進組織の設立を目指します。



③ 包括連携協定企業(株)モンベルとの連携

モンベルフレンドエリア「フレンドタウン奥州市」に登録し、Webページやアウトドア情報誌、モンベルショップでの情報発信により、アウトドアに興味のある方に向けた広報活動を実施しました。また、奥州湖周辺エリア活用整備構想に掲載した、奥州市におけるアウトドアツーリズムのモデルルートについて、ジャパンエコトラックへの登録及び令和8年3月のルートマップ公開を目指します。

前沢市街地エリアプロジェクト

アクセス向上に向けた道路整備の検討と検証

(担当：都市計画課・羅針盤プロジェクト室)

開発コンセプトの一つである「前沢駅周辺の生活環境の充実（アクセス環境、防災力向上）」に向けて、幹線道路の整備を中心に事業を進めています。

前沢市街地には11路線（国道1、県道3、市道7）の都市計画道路がありますが、中には未整備の区間があり、当初計画の決定から20年以上経過しています。都市計画道路とする路線を現状に即して見直しを行うため、令和6年度から令和7年度にかけて「都市計画道路の事業化検討業務」において、前沢市街地の交通特性調査、将来交通量の推計、費用対効果の算出、関係機関との協議等を行いました。令和7年6月に完了した本業務において、都市計画道路として見直す路線を6路線まで選定し、その後も更なる絞り込みを進めています（令和8年3月完了予定）。

また、整備が進んだ街並みの維持をソフト面でも支えるため、地域の民間事業者との連携や、他の市街地とも歩調を合わせて地域運営（エリアマネジメント）組織の組成についても検討していきます。



市道前沢中央線（前沢保育所付近）